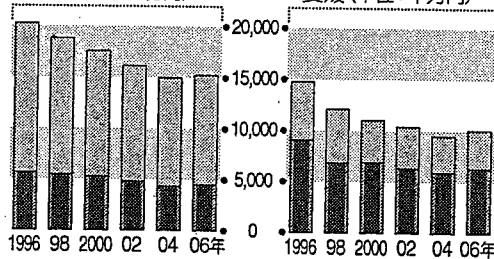


愛媛県の重要産業である漁業生産額データをご紹介します。下の表は1996年以降の海面漁業及び海面養殖業の生産額を、全国と愛媛県について集計しグラフ化したものです。2003年・04年を底とし以降上向きで推移しています。

愛媛県の特徴は海面養殖のシェアが高い点にあります(全国約3割、愛媛県約6割)。さらに海面養殖は全国に比べて平均単価が高いという特徴があります。これは魚類養殖が中心で単価の低い養殖品が少ないことによります。つまり愛媛県の海面は高単価品の集中度が高い良質の生産市

ピックアップえひめ

漁業生産額の推移 ■海面養殖業 ■海面漁業
 全国(単位:億円) 愛媛(単位:千万円)



シェア高い養殖業

6次産業化が必要

場であると言ったことができ、良いものを求めるといふ時代の流れを踏まえると、今後も大変有望視することができます。

ただし懸念もあります。それは、全国および愛媛県ともに共通することですが、過去10年程度では海面養殖のシェアがほぼ一定である点です。つまり、海面養殖はまだ海面漁業の補完的地位にあると言える点です。水産物の安定供給、漁業の安定経営という視点では、海面養殖業は、加工(2次産業)や流通・販売(3次)と協調して生産(1次)するという6次産業に変化していくことが大切です。そのための事業環境整備を進め、平均単価が高いという特性をいかした収益性のある海面養殖業を育成・支援していくことが必要だと考えます。(日本政策投資銀行松山事務所長・門松 功)

Data